

プロジェクトチームで

まちづくりにぎわい再生計画プロジェクトチームの取り組みは、既に策定されている中心市街地活性化基本計画や商工会議所のTMO構想が基本です。しかし、策定から年月が経過しているために、事業計画の修正を行い、また、新たに付け加える

べき方策を明らかにしながら、新たな計画の策定を行っていき

3つの分科会設置して

このプロジェクトチームの中に、次の三つの分科会を設置し

ます。

これには、にぎわい課に寄せられた皆さんの提言やアイデアなどを参考に、さまざまな専門家の意見を加味しながら進めていきます。

ました。市民の皆さんからの提言、アイデアや現状の分析に始まり、導入機能や不足している点を検討し、より実現性の高い

活性化策を検討しているところ

です。こうした点を各分科会がそれぞれ検討した上で、全体会議での調整・検討を行っていきます。

△ グラウンドデザイン検討チーム

中心市街地のグラウンドデザイン（中心市街地をどのようにしていくか、中心市街地のまちづくりビジョンの検討） 各活性化拠点の導入機能の検討（事業主体、事業手法を含む）。

△ 商店街活性化支援チーム

商店街のにぎわいづくり支援として新規イベントの企画・立案や実行支援など、市民などから寄せられたソフト事業の提言やアイデアの検討、イベントなどを継続実施するための事業推進体制の課題の検討。

△ 広報活動・推進組織検討チーム

プロジェクトチームや分科会の活動の情報発信、中心市街地再生に向けての新たな事業推進体制づくり。

市民の皆さんが意見を

一月三十日午後一時から七時

まで、市役所11階北会議室に市民の皆さんなど百九人が集まって、「前橋中心市街地を考える十年後に実現したい中心部の姿とは」をテーマにワークショップを開催。「前橋のまちをどうにかしたい」「このまちを活性化しよう」「にぎわいを取り戻してもらいたい」という熱意が感じられました。この盛り上がりからこの計画策定の中に生かしていきます。

なお、この中でビジョンとして、挙げられた項目は次のとおりです。
オンラインワンのセントラルエ

リア

憩いと緑あふれる街
だれもが安心できる住のまち
ハートネット前橋
自己完結型の街

にぎわい復活に向けて

県都前橋の顔として、今、中心市街地の再生は不可欠です。また、地域に根ざした商店街は地元になくはならない都市機能の一部。にぎわい課に寄せられた提言やアイデア、ワークショップでの熱い声を再生のために実現していくことが今後さら

に必要です。

中心市街地の活性化は、市民・商業関係者・民間の皆さんと行政が連携しながら進めなければ実現しません。前橋を誇りに思えるように、これからのまちづくりを皆さんと実行していきます。



前橋テルサから見た中心市街地



毎月3日に開催する弁天ワッセル